

プロキシサーバ (B J D) の設定要領

動作原理

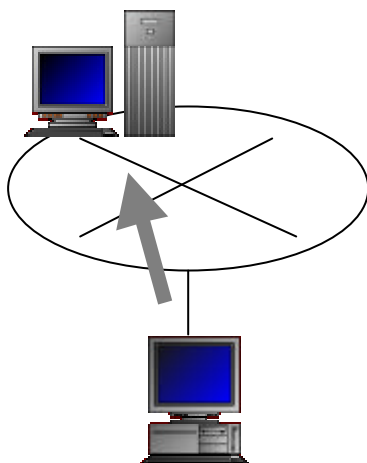


図1 一般的な接続

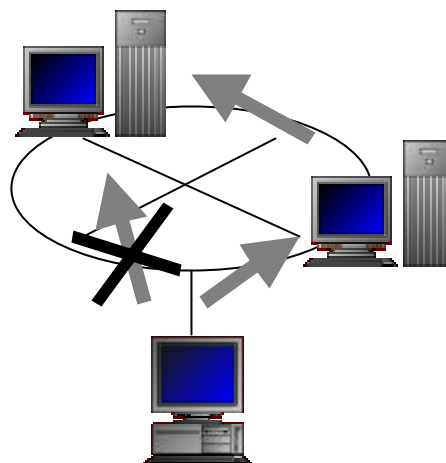


図2 プロバイダなどのプロキシを使用した接続

- 1 通常の接続では、クライアントとwebサーバが直接通信をしています。(図1)
- 2 プロバイダなどのプロキシサーバ経由で接続している場合、クライアントは、プロキシサーバとのみ通信をしています。(図2) この場合、クライアントとWebサーバとの間の通信は、できなくてもかまいません。設定としては、クライアント側で「プロキシを使用する」ように設定するだけです。

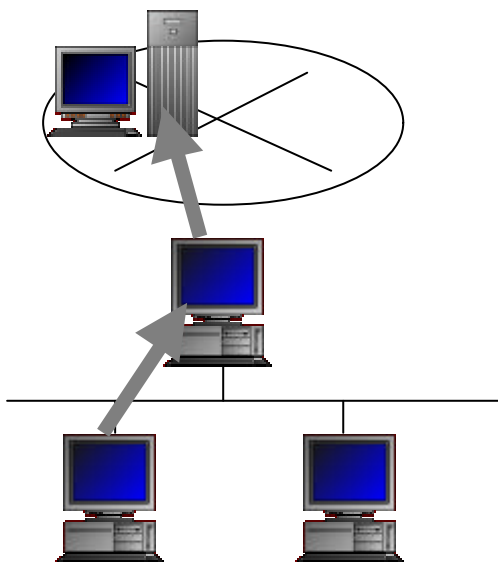


図3 イントラ内にプロキシサーバを設置した接続

設定手順

- 1 プロキシサーバとインターネットとの間の接続確認
- 2 クライアントとプロキシサーバとの間の接続確認
- 3 プロキシサーバの設定
 - (1) B J D のインストール
 - (2) 利用者の設定
 - (3) キャッシュの設定
 - (4) ダイアルアップの自動接続
- 4 クライアント (I E) の設定
 - (1) プロキシを使用する
 - (2) H T T P / 1 . 0 の使用

- 3 図2の形をそのまま、イントラ内に持ってくることで、直接インターネットに接続できないマシンでも、LAN内に1台でもインターネットに接続できるマシンがあれば、接続が可能になります。(図3)

この形態を確立するための条件は、以下の4つだけです。

- 条件1 プロキシサーバとなるマシンがインターネットに接続できる
- 条件2 クライアントとプロキシサーバの間が接続できる
- 条件3 プロキシサーバが設定されている
- 条件4 クライアントがプロキシサーバを使用するように設定されている

設定手順

1 プロキシサーバとインターネットとの間の接続確認

プロキシサーバとなるPCの環境を構築し、そのPCは、通常通りインターネットに接続できることを確認しておいて下さい。

2 クライアントとプロキシサーバとの間の接続確認

LAN上のPC間でping接続を確認します。

BJDはTCP/IP上で動作します。他のプロトコルでは動作できません。NetBEUIなど動作している場合、ネットワークコンピュータで他のPCが見えたり、ファイル共有が可能になりますが、これは、TCP/IPが正常に動作しているという保証にはなりません。pingで接続を確認できれば、間違いなくTCP/IPの設定ができていると言えます。

3 プロキシサーバの設定

(1) BJDインストール

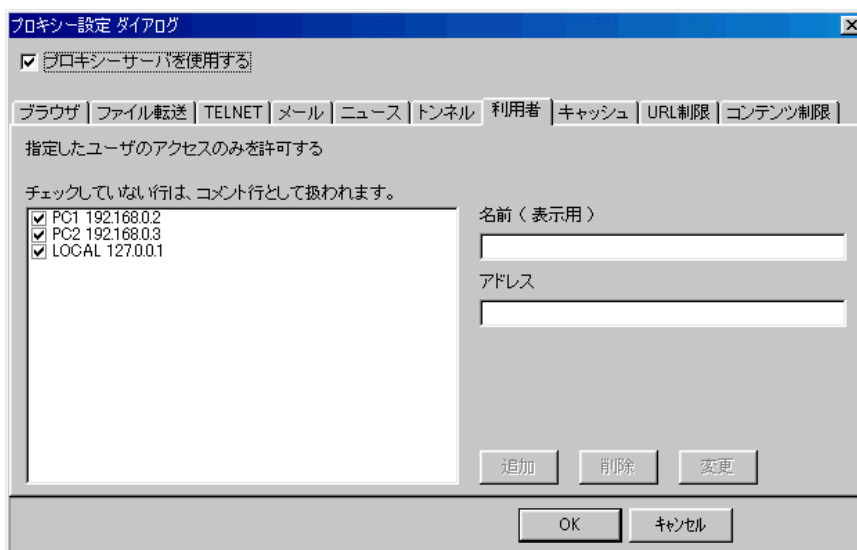
- ・ bjd-version.exe (例: bjd-2.0.8.exe) を実行して自動解凍して下さい。(解凍する場所は何処でも結構です)
- ・ Setup.exe を実行してインストールして下さい。

デフォルトで、c:/Program files/SapporoWorks/BlackJumboDog にインストールされます。インストール後は「スタート」から、「プログラム」 - 「BlackJumboDog」で起動できます。タスクトレイのアイコンをクリックすると設定画面が開きます。

(2) 利用者の登録

外部からの不正利用を避けるため、BJDはデフォルトで、誰からのプロキシリクエストも受け付けません。このプロキシを使用するPCは、そのIPアドレスを明示的に利用者として登録してやる必要があります。

- ・ メニューから「設定(0)」 - 「プロキシサーバ(P)」 - 「利用者」のところで「名前(表示名)」及び「アドレス」に入力して「追加」ボタンを押すことでリストに追加されます。



「名前(表示名)」には、自由な名前をつけて下さい。

「アドレス」には、利用するPCのIPアドレスを入力して下さい。

自分自身も使用できるように127.0.0.1を忘れずに追加しておいて下さい。

(3) キャッシュの設定 この設定は省略可能ですが効果は大きいと思います。

・メニューから「設定(O)」 - 「プロキシサーバ(P)」 - 「キャッシュ」のところで「ブラウザ (HTTP)用のキャッシュを使用する」にチェックして下さい。

デフォルトで、キャッシュのディレクトリは、C:\Program Files\SapporoWorks\BlackJumboDog\Cacheで、最大容量は5 Mになります。環境により都合が悪い場合は、変更して下さい。

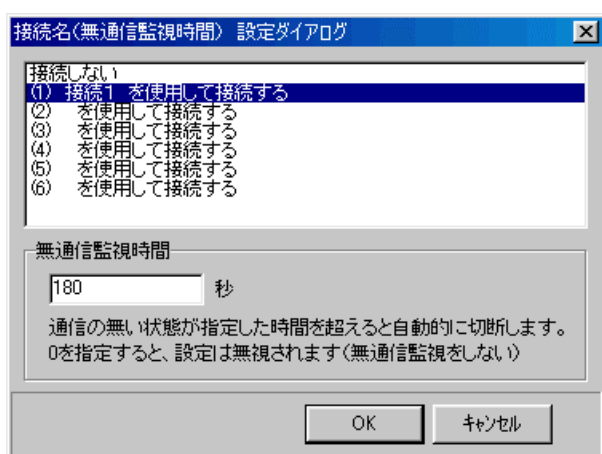
(4) ダイアルアップ自動接続

ダイアルアップ接続を自動的に切断するため、ダイアルアップ接続の制御をB J Dに預けます。

・メニューから「設定(O)」 - 「ダイアルアップ(D)」を開いて、「使用するダイアルアップ接続名」をプルダウンから選択して下さい。

・「スケジュール設定」のボタンを押して表示されたダイアログで、接続を許可する時間帯をドラッグして選択します。

・選択された状態で、右クリックを押して、使用する「ダイアルアップ接続名」及び「無通信監視時間」を設定します。



・「OK」ボタンを押して、スケジュールに設定されていることを確認して下さい。

4 クライアント (I E) の設定

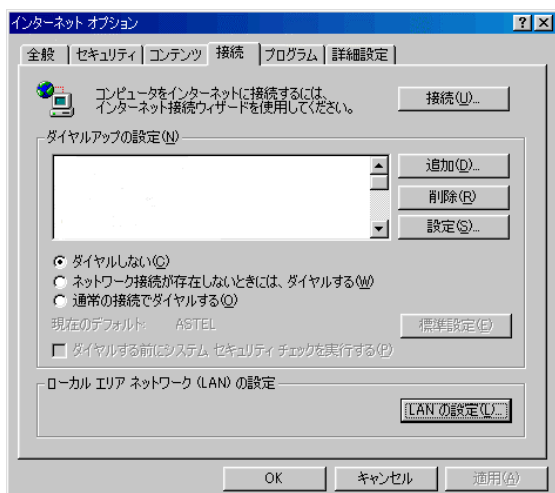
(1) プロキシを使用する LAN上のPC及びB J Dが動作しているPCの両方に設定してください。

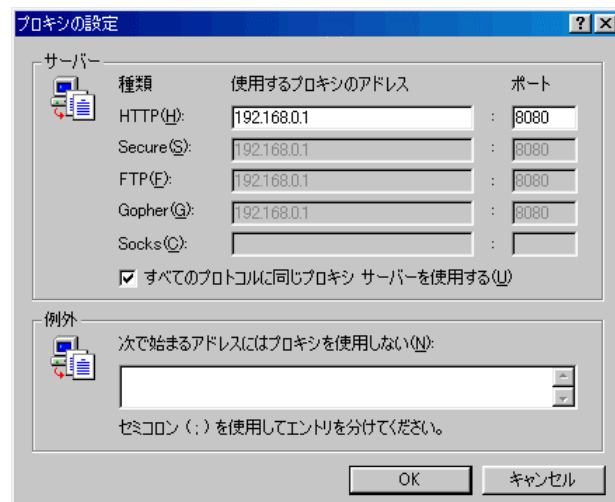
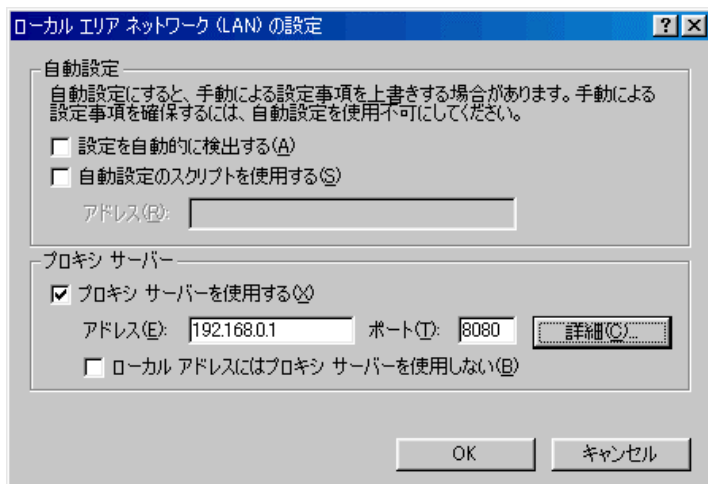
・IEのメニューから、「ツール(T)」 - 「インターネットオプション(O)」 - 接続のダイアログで「ダイアルしない」にチェックして下さい。

・同ダイアログの「LANの設定(L)」ボタンを押して、「プロキシサーバを使用する」にチェックして下さい。

・「アドレス(E)」には、B J Dの動作しているPCのIPアドレス、「ポート(T)」には8080を入力して下さい。

・「詳細(C)」ボタンを押して出てきたダイアログで、「すべてのプロトコルに同じサーバを使用する」にチェックして下さい。



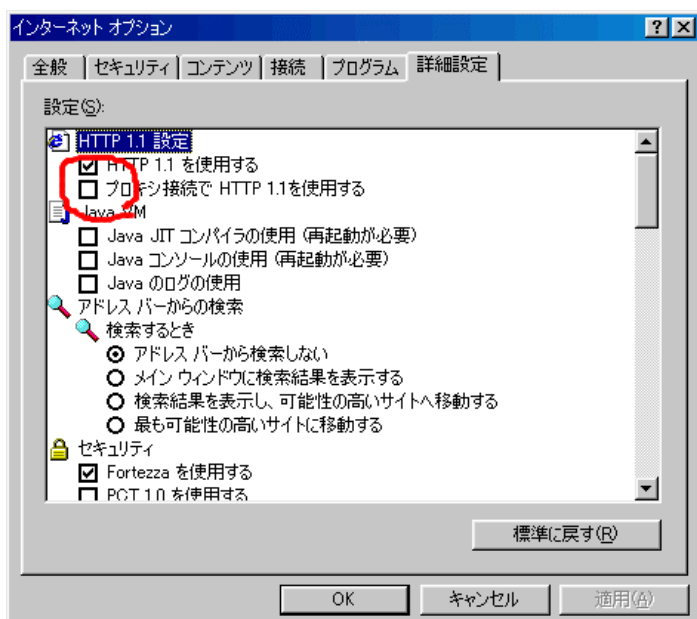


・ B J Dの動作している P Cでは、上記の他に、「ダイヤルアップの設定(N)」の中に、各接続語との「設定(S)」で同様のプロキシの設定があります。ダイヤルアップ接続中は、そちらの方が使用されますので、接続中も B J Dを経由するように、同様の設定をする必要があります。

(2) (HTTP / 1.0 の使用) L A N 上 の P C 及 び B J D が 動 作 し て い る P C の 両 方 に 設 定 し て 下 さ い。

BJDでは、HTTP/1.1のプロトコルに完全に対応できておりません。

・ I E のメニューから、「ツール」 - 「インターネットオプション」 - 「詳細設定」 - 「HTTP 1.1 設定」 で「プロキシ接続で HTTP 1.1 を使用する」のチェックを外して下さい。



BlackJumboDog のホームページ <http://homepage2.nifty.com/spw/bjd/>
 連絡先 sin02@nifty.ne.jp